

RECITAL DE PIANO MICHIKO TSUDA

# 津田理子ピアノリサイタル

## “Klang Gesichter”

### 響きの持つ多面



Johann Sebastian Bach  
J.S.バッハ

Tocatta d-moll BWV 913  
トッカータ ニ短調 BWV 913

Franz Schubert  
シューベルト

Sonate Nr.14 a-moll D784 Op. post.143  
ソナタ 第14番 イ短調 D784  
作品143 (遺作)

Johannes Brahms  
ブラームス

Variationen über ein eigenes Thema Op.21-1  
創作主題による変奏曲 作品21-1

Franz Liszt  
リスト

Ballade Nr.2 h-moll  
バラード 第2番 ロ短調

# 2019年 10月19日(土)

## 午後2時開演(1時30分開場)

# トッパンホール

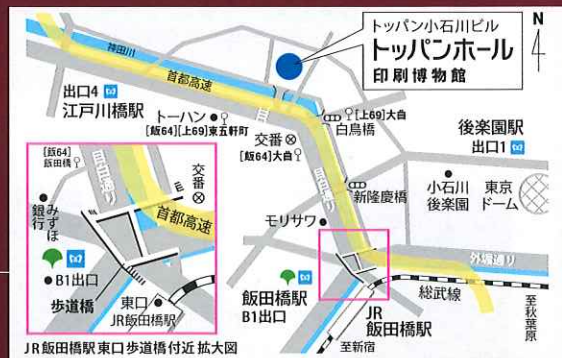
〒112-0005  
東京都文京区水道1-3-3  
Tel: 03-5840-2200

SATURDAY, 19 OCTOBER 2019, 2:00P.M., TOPPAN HALL

### 全自由席 4,500円

前売

ローソンチケット 0570-000-407(Lコード31719)  
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード150-495)  
CNプレイガイド [www.cnplayguide.com](http://www.cnplayguide.com) 0570-08-9990  
楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>



江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分  
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分  
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分  
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分  
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)



## ピアノで話す音楽の語り

東京藝術大学修士課程を卒業して、初めて行ったリサイタル、その後ベルギーのブリュッセルに留学し、5年ぶりに帰国してから、定期的リサイタルを開催しては40年。1980年よりスイスのチューリッヒに住むようになってから、2年ごとに東京でのリサイタルを続けることを目標に演奏を続けてきました。みなさんの暖かい応援で今回45周年記念を迎えることができますことは、大変嬉しくありがたいことと感じております。

これまでのプログラムを見ると、それぞれの時代に関心があったテーマで組み立て、それに挑戦、そしてその全てを堪能してまいりました。その中で私自身、少しずつ音楽の真髄というものが分かってきたような気がしていましたが、今また音楽の多様さ、色々な魅力を見せるたくさんの方が見えてきて、音楽の奥深さ、面白さにますます興味が募ってきております。

今回はピアノの音の響きを持つ“面”をテーマとして、プログラムを決めました。これまでのまとめとして、それぞれの時代、様々なスタイル、その都度で異なる“響きの持つ多面”を集めました。皆様と一緒にまた存分に堪能する事ができましたならば、この上ない幸せと存じます。

津田理子

## 津田理子(ピアノ) MICHIKO TSUDA, PIANO プロフィール

兼松雅子、レオニード・コハンスキー、安川加壽子の各氏に師事。

1973年、東京藝術大学大学院修了。

1974年、東京で第1回リサイタル後、ベルギー、ブリュッセル王立音楽院に留学。デル・プエイヨ教授に師事。

1976年、ハエン国際ピアノコンクール優勝、併せてスペイン賞も受賞。

1978年、チリ国際ピアノコンクール第2位。

1980年、サンタンデル・フェスティヴァルにてスペイン音楽にすぐれたピアニストに与えられるスペイン賞を受賞。

1980年より現在まで、スイス第一の都市であるチューリッヒに住み音楽活動を積極的に行っている。ヨーロッパをはじめとして日本、北米、南米の有名オーケストラと共演し、好評を博している。中でもチューリッヒ交響楽団の演奏会ではソリストとして定期的に出演し協奏曲のレパートリーで耳の肥えたチューリッヒの音楽ファンの高い評価を得ている。リサイタルもニューヨークのカーネギー・ホールをはじめ世界各国で行い、専門家をはじめとして高い評価を受けており、1979年より定期的帰国リサイタルを行い日本の聴衆をも魅了している。

2001年より毎夏、チューリッヒ・トーンハレの小ホールで「津田理子ムジーク・トレッフェン(MTMT)」と冠した室内楽とソロのリサイタル・シリーズを開催。チューリッヒの夏の音楽イベントとして高い評価を受けており、2016年にはベルギー国立オーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番(皇帝)を演奏、18回目となる本年は、アンサンブルではベートーヴェンとブラームスのピアノ四重奏曲を演奏する。

2008年、2009年、2012年、2015年とスペインのハエン国際ピアノコンクール審査委員をつとめる。

チューリッヒ・トーンハレ大ホールにて、ダニエル・シュヴァイツェル指揮のOrchester 21(21世紀オーケストラ)と、ベートーヴェンのピアノ協奏曲 第1番と第5番を2009年4月に、第2番と第4番を2010年3月に、それぞれ一晩で演奏、また第3番を2013年1月に演奏し、好評を得る。

ベルギーの Cypès 社からヒナステラのピアノ曲全集をはじめショパンのピアノ協奏曲など6枚のCDをリリース。レコード芸術誌などで「特選盤」となる。

いつでもコントロールのきいた音、響きが出せる津田理子の演奏は、リストの弟子、マリー・ジャエル女史の研究したテクニック(シェーバス・テクニック)を基にしている。

津田理子ホームページ <http://www.michiko-tsuda.com/>

## MICHIKO TSUDA CD

CD-Selektion aus "Best of Daniel Schweizer",  
全38枚からなるダニエル・シュヴァイツェル(指揮者)の  
ベスト録音集から津田理子演奏によるセレクトシリーズ

第1弾



ベートーヴェン:  
ピアノ協奏曲 全5曲

第2弾



ピアノ協奏曲集  
「フランク・マルタン:  
バラード/ラフマニノフ:  
第2番/  
チャイコフスキー:第2番/  
ラヴェル」



Best of Daniel Schweizer  
Das Lebenswerk des Schweizer Dirigenten - Live Konzerte

クラリネットと  
ピアノのための  
デュオ・アルバム

A. サイオテ (cla)  
津田理子 (pf)

PC 1018E

ショパン

- ・12の練習曲 Op.10
- ・12の練習曲 Op.25
- ・3つの新しい練習曲

CYP 1618

シューマン

- ・交響曲練習曲 Op.13
- ・ピアノソナタ Op.22
- ・「森の情景」

CYP 1608

リストと自然

- ・巡礼の年
- ・第一年スイス
- ・二つの伝説

CYP 5615

ヒナステラ

ピアノ曲全作品  
(2001年3月号)  
レコード芸術  
【特選盤】

CYP 1625

ショパン

- ・ピアノ協奏曲  
第1番、第2番
- ・チューリッヒ・シンフォニー  
オーケストラ
- 指揮:ダニエル・シュヴァイツェル

CYP 5617

ベルギー Cypès (輸入発売元: 株式会社 Mercury TEL 03-5276-6903) <http://www.mercury-coo.com> info@mercury-coo.com